

# くにびき通信

2024年 3月号

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

## はじめに

温かい日が随分と多くなり、センターの周辺ではクロモジの蕾が膨らみ始めました。昨年4月に入園のついで子どもたちが、「またこの花が咲くころまで同じ釜の飯を食う仲間として皆で協力して山村留学生生活を頑張ろう」と、クロモジの枝を飯ごうに挿したことが懐かしく思い出されます。

7人でスタートした20期生。例年より少ない学園生、中3がない学園。子どもたちも、様々な不安を抱えてきたことでしょう。それでも、共同生活を通してお互いを理解し合い、また、協力しながら活動を行い、目的を共有したり、支え合いながら困難を乗り越えることで、1年が終わる頃には、学園歌の歌詞にもあるように「気がつけば僕らはいつしか1つになった」と思います。学園生が少ないことで、人間関係が限られたり、一人当たりの作業量が多かったりと大変なこともたくさんありましたが、逆にお互いの関係性が濃くなったり、アットホームな雰囲気を作り出したのは、20期の良かったところだと思います。

この1年、7人の学園生は何を感じ、何を学んだのでしょうか。それはきっと、言葉で表現されるような単純なものではなく、今後の生き方に反映されるような根本的、本質的なものだと思います。卒園した子どもたちとはしばらく顔を合わせることができませんが、また会える日を楽しみにしています。

最後に、学園生を見守り、支えてくださった全ての皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

主任指導員 稲井祐介



## 今回の活動カレンダー



2024年	活動内容
2月23日(金・祝) 晴れ	昔の生活体験1日目
2月24日(土) 曇	昔の生活体験2日目
2月25日(土) 晴れ	子ども神楽大会
3月9日(土) 雨・曇	歴史文化交流体験1日目
3月10日(日) 晴れ	歴史文化交流体験2日目

2024年	活動内容
3月16日(土) 晴れ	大掃除 お楽しみ会
3月17日(日) 曇・雨	上立石交流会
3月20日(水・祝) 曇	修園のつどい準備
3月23日(土) 晴れ	修園のつどい
3月24日(日) 晴れ	帰省



## 昔の生活体験 2/23 (金・祝) ~ 24(土)

ご飯づくり・お風呂沸かしがメインミッションの昔の生活体験。この時期はちょうど北三瓶でフキノトウが顔を出し始めた頃で、いつもの通学路でフキノトウ採りをしてから活動を開始しました。

この活動では、指導員からほぼ助言や手助けは入りません。誰がどの役割をやるか、時間通りに終わるようにマネジメントできるか、基本的に学園生達が相談して決める形をとっています。火起こしが得意、調理が得意、全体の進捗を見ながら采配するのが得意など、学園生達はそれぞれの強みを生かしながら進め、1年の集大成とも言える活動になりました。



## 子ども神楽大会 2/25 (日)

この「第11回大田市子ども神楽大会」に向け、農家期間中も農家さんに協力をいただきながら、足繁く伝承館へ練習しに通いました。いつもの練習場所の伝承館やセンターとは違う、大きなホールでの演目披露。緊張や不安もあったと思いますが、それでも皆空き時間を見つけては練習し、自分たちなりの精一杯をだしきれるように励んでいました。当日は「大蛇」という30分ほどの演目に取り組み、無事最後までやり通すことが出来ました。大きな舞台でのプレッシャーに負けず、仲間と共に一つのパフォーマンスを作り上げるという経験は、かけがえのないものになったはずです。



## 歴史文化交流体験 3/9(土) ~ 10(日)

皆が心待ちにしていた歴史文化交流体験。今年度は島根県東部から鳥取県西部でさまざまな体験をしました。「大山乳業協同組合工場」「鳥取県立大山自然歴史館」「蒜山ホースパーク」「足立美術館」などなど、酪農、自然、アクティビティ、美術館といった様々なコンテンツに触れました。他の地域の文化、歴史、生業、観光資源に触れ、自分たちの住む北三瓶の特徴や強みを知るきっかけが生まれたようでした！





## 大掃除 3/16 (土)



今年度最後の掃除は、車庫、センターの車、農機具庫、囲炉裏など、「ここ掃除したいんだよな〜」と日ごろ感じていた細かい場所を掃除していきました。特に囲炉裏に関しては、冬に炭火を焚いて暖をとったことで、天井部分に灰が舞い積もっていました。「今年度の冬も大変お世話になりました。また来年度もよろしくね」と、長く大切に使うためにも丁寧に灰を取り除きました。農機具庫については、さっそく4月からの畑活動で忙しく使われそうな予感。整理整頓をして、活動の準備は万端。21期はどんな野菜を育てようかと、気持ちもワクワク高まってきましたね。

## お楽しみ会 3/16 (土)

3学期は誕生日の人が誰もいなかったため、美味しいものを食べて楽しいレクリエーションで盛り上がる、お楽しみ会に変更しました。この日の夕食は…

- ・ハンバーガー & オニオンフライ & フライドポテト
- ・パイシチュー
- ・チョコタルト〜フルーツ盛り合わせ〜
- ・バナナシェイク

と、難易度高めなラインナップでしたが、どれも大変美味！皆本当に料理が上手になりました。

レクリエーションは「暗闇人狼宝探し」を企画。この日の夜のセンターは悲鳴が飛び交っていました…笑



## 上立石交流会 3/17(日)

上立石地区の皆さんとの最後の交流会。この日はカレー・おはぎづくりをしました！おはぎはお馴染みのきな粉・ごまなどの味付けの他、青のりといった変わり種もあり、「どんな味になっちゃうん！？」と皆大騒ぎしていました。また、昼食後は地域の方が企画されたビンゴゲームで大盛り上がり。おもちゃやお菓子をいただき、地域の方ともビンゴカードの番号があるかないかで大盛り上がり。地域の皆さんにたくさん可愛がっていただき、ステキな時間を過ごさせていただきました。

昨年4月、入園のつどいを機にセンター生活を始めた7名。新規生の学園生達は特に、自分たちが来年の春どんな表情で修園賞を手取るのか、想像がついていなかったかもしれません。皆、たくましい顔つきになりましたね。地域の皆さんに支えられ、無事7名の学園生が修園を迎えることが出来ました。7人の学園生の皆さん、修園おめでとうございました！



### 西村崇司のつぶやき

＼名言“やるか、やらんか”／

大田市街地から北三瓶へ向けてのぼっていき三瓶ダムを過ぎると三瓶町野城（のしろ）地区に入ります。ほ場整備された田んぼのいくつかは4月から5月にかけてピンク色のレンゲの花におおわれそのレンゲを鋤き込んで6月に田植えが始まります。名にしおう農事組合法人「百姓天国」さんが作るレンゲ米の産地です。山村留学センターに赴任した10年前、三瓶ダムのほりにあるさひめ湖物販所で「ヒャクテン」が作る野菜や農産物加工品、いちご大福が売ってるよ」といった話をよく聞いたのですが、百姓天国の略語（百天）であることがわかったのはずいぶん時間が経ってからでした。それにしても、百姓天国というネーミングはしゃれていますね。記憶が正しいのか怪しいですが、組合を立ち上げるにあたって名前をつけないといけませんが、せつかつけるなら楽しい名前がいいなあ、百姓仕事はしんどくてきついけれど、仕事場の場所は天国だと思って楽しく百姓をしよう・・・といった感じで、ある方が「百姓天国はどがなかな」と提案したところ満場一致で決まったようです。

わたしは、小説家の故・開高健（かいこう・たけし）さんが洋酒メーカーの宣伝部社員だったころに洋酒天国という広報誌の発行人をしていたという話を思い出して、確信もなく洋酒天国をもじったのではと思っていたので大きな勘違いだったことに恥じるとともに逆に安堵した記憶があります。この開高健さんつながりで、中学生から高校生にかけて開高さんの本をたくさん読んだこともありその細部は忘れてしまいましたが、社会人になってからいくつか開高「名言」と言われるものに時々ふれることがありました。たとえば、窓口業務をしていた20代後半には、「たかさん、仕事はゆっくりと正確に早くだけな」とよく言われ、開高さんに「悠々として急げ」の名言があることを知ったと思います。

ところで、百姓天国の命名者とその命名秘話を教えてくださいました方は北三瓶の方でかつ在職時の上司です。この方には実務的なことを教わったというより、その仕事ぶりから大局的なものの考え方や見方を教わりました。その方によく言われた「たかくん できるかできんかじゃないで やるかやらんかだ」が、わたしにとって一番の名言だと確信しています。自分自身に甘えを感じたり、疲れが出たときふと思い出し戒めとしています。

## 「くにびき通信」2024年3月号



大田市  
山村留学センター  
Sanbe Kodama Academy

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL:0854-86-0700 FAX:0854-86-0701 Email:o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市山村留学センター  
公式ホームページ



くにびき通信  
カラー版